



議会 だより



ちはやあかさか



一般質問

特集：令和3年度決算

服部 幸令

コロナ後遺症への対応は
給食に使用される食用米の衛生管理は

田村 陽

いきいきサロンやまゆりの修繕は
下水道事業への補填に公平性は

藤浦 稔

大阪府と河南町・太子町・千早赤阪村の協議の場は
国道309号河南赤阪バイパス3期区間の状況は

徳丸 初美

森屋バス停付近の歩道の整備を
水分にバス停の新設を

平田 常信

災害対策ローリングストック方法の普及を

井上 浩一

帯状疱疹ワクチン接種の公費助成、肺炎球菌ワクチンの状況
男性用トイレにサンタリーボックスの設置を



臨時議会 議決結果（令和4年7月29日）

○承認・可決された案件（欠席者 井上議員・服部議員・藤浦議員）

- 専決処分（令和4年度千早赤阪村一般会計補正予算（第5号））の承認
※水道基本料金の減免（1282万円）・商品券配布事業（5380万円）ほか
- 令和4年度千早赤阪村一般会計補正予算（第6号）
※野外活動センターを普通財産に変更したことに伴う経費の増（126万円）
- 動産の取得（新庁舎の備品）（2781万円）

9月定例会 議決結果

○全会一致で可決・認定・報告された案件

- 職員の育児休業等に関する条例の改正
※育児休業に係る要件の緩和・休暇の対象期間の拡大
- 南部大阪都市計画二河原辺・水分地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の改正
※敷地面積に関する制限や緑化率の最低限度を加えるとともに、違反した場合の罰則規定の追加。
- 令和4年度千早赤阪村一般会計補正予算（第7号）
※財政調整基金への積立（5285万円）、村診療所の赤字補てん（1060万円）ほか
- 令和4年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
※マイナンバーカードのチラシ配布・未就学児の均等割5割軽減に伴うシステム改修
- 千早赤阪村過疎地域持続的発展計画の変更
※過疎地域持続的発展計画に第5次総合計画の内容を反映するもの
- 令和3年度健全化判断比率について
※早期健全化基準から見て問題になる比率はなかった
- 令和3年度資金不足比率について
※資金不足は発生していない
- 令和3年度千早赤阪村一般会計・特別会計歳入歳出決算認定
※詳細は特集記事を参照
- 千早赤阪村議会委員会条例の改正
※部が設置されたことに併せて、常任委員会の所管を変更するもの
- 令和4年度千早赤阪村一般会計補正予算（第8号）
※マイナンバーカード取得者に商品券を配布（876万円）、インフルエンザワクチン接種への助成（182万円）
- 動産の取得（議場映像システム機器）
※本会議および各種委員会の中継・録画放送にむけて映像システム機器を導入するもの（935万円）

議長コラム



千福清英
村議会議長

台風一過の素晴らしい秋晴れとなったこの日、村立中学校の体育大会が開催された。眩しいばかりの朝日を受けての開催である。

金剛山（こごせ）っ子の、コロナウイルスを吹き飛ばさんばかりのはつらつとした競技に感動した。

遠い昔、私が中学生のころ村民運動会がこの運動場で行われ、村中の老若男女が一堂に集結し、さまざまな競技に沸いたものであった。当時、親子三代リレーに参加したことを懐かしく思い出させてくれた。

村民の皆さんや職員が待ち望んでいた新庁舎が、10月に一期工事が完成した。内覧会に庁舎検討委員会の委員の皆さんと一緒に、議員も参加し、新庁舎の

特徴的な部分や機能についてご説明いただいた。様々な特徴があつたが、私が特に気に入つたのは、一階天井部に千早赤阪村産ヒノキ材を使用し、空間に自然で温かみのある雰囲気を作り出している点だ。この庁舎が大

阪河内材のアップールになればと思う。さて、10月1日付けで村役場の組織改革が行われ、新しい役場のスタートである。

南本村長が思い描く村づくりをいち早く実現するための改革であり、私は大いに期待をしている。

新しい庁舎、新しい組織、すべてが真っ白なキャンパスだ。すべての村民が笑顔になって集うような村づくりを村長にお願

いしたいと切に願う。そのため、議会として果たすべき責務に身の引き締まる思いがした。

全員協議会

〔令和4年9月14日〕

案件

1. 監査結果報告の提出について

- ・ 監査対象課・健康課・教育課
- ・ 監査の結果・概ね適正に執行されているものの一部に検討または改善を要する箇所が見受けられた。

2. 令和4年度教育委員会の事務に関する点検評価報告について

（目的）

教育行政事務の実施状況を検証し課題や今後の方向性を明らかにして、効果的な教育行政の推進を図り、その結果を村議会に報告し、公表することにより住民への説明責任を果たす。

（対象）

令和3年度に実施した主要な事務事業。

（方法）

学識経験者の意見をいただき、事務局職員が点検・評価を行う。
（主な事務事業）

- ① 学力の向上と教育力の充実
- ② 豊かでたくましい人間性の育成
- ③ 安心安全な学校づくりの推進
- ④ 学校及び教職員の資質の向上
- ⑤ 社会教育の充実

今月の表紙



東阪 谷 美桜奈 ちゃん

(タニ ミオナ)

4ヶ月

父 翔平さん 母 絵美梨さん

『生まれて来てくれてありがとう
これからたくさん
思い出作ろうねえ♡』

表紙写真 大募集!!

千早赤阪村議会だよりの表紙を飾っていただける
お子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真（複数人でもかまいません）

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話または村ホームページ（村議会）にてご連絡ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168

令和3年度の決算状況

会計別	歳入	歳出	差引
一般会計	34億6334万円	33億4367万円	1億1967万円
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	7億6336万円	7億5800万円	536万円
国民健康保険特別会計 (診療施設勘定)	3430万円	3430万円	0円
介護保険特別会計	5億8072万円	5億5662万円	2410万円
後期高齢者医療特別会計	1億2595万円	1億2584万円	11万円
下水道事業特別会計	2億2558万円	2億2558万円	0円
金剛山観光事業特別会計	3972万円	3972万円	0円

決算特別委員会 質疑応答

一般会計・特別会計の質疑から、主なもの
を抜粋しました。

一般会計

(千早地区避難所建設工事)

問 千早地区避難所建設工事基本設計業務として144万円計上されているがその後の進捗は。

答 基本設計は完成しているが、建設に向けての調整は進んでいない。

(固定資産税の増加)

問 総括質疑の答弁において企業誘致で固定資産税が増加したとあるが具体的に示してほしい。



決算特別委員会

答 新型コロナウイルス感染症の対策で税の納付が1年延長されたことによる。

(ふるさと応援寄附金)

問 ふるさと応援寄附金が若干減となっているが、分析は出来ているのか。

答 ショッピング感覚のインターネットでのふるさと応援寄附金が非常に多く、昨年度はサイトを1つ増加したが残念ながら減少するという結果になった。

(広報誌配布)

問 広報誌の配布について、他市町では委託でされている所もあるが、村ではできないのか。

答 配布数に応じて地区補助金に反映しており、直ぐに業者委託は困難であるが、情報収集し必要に応じ検討する。

(地域おこし協力隊)

問 地域おこし協力隊を卒業し、村内にて起業・定住された方への支援は出来ないのか。

答 村として連携を密にしていきたい。

(ハザードマップ)

問 ハザードマップを新たに作成しているが、各戸別・地域に対し説明等はしているのか。また、洪水に対してのマップが追加されている。村内の河川整備についてどの様に考えるか。

答 3年度においてはコロナの関係もあり、説明会は出来ていない。今後は防災の視点を総合的に各地区で共有していきたい。

1級河川については大阪府の所管になるので、年2回大阪府土木事務所と巡視点検してい

る。

(小吹台連絡所のオンライン化)

問 小吹台連絡所のオンライン化は考えているのか。

答 近隣市町を調査し、今後検討していきたい。

(コミュニティソーシャルワーカー)

問 コミュニティソーシャルワーカーは、1名であるが対応可能なのか。

答 4年度の事業から重層的支援体制の整備事業で社会福祉協議会と村の福祉課と一体となり、しっかり取り組んでいく。

(村のがん検診)

問 がん検診の受診率が低くなっている要因は。

答 受診率の算出方法が、村での集団検診・個別検診を受けた方を基にしているが、職場検診や人間ドッグのオプションでがん検診を受けた方は村では把握できないので、実際の受診率はもう少し高いと考える。

問 村のがん検診はすべて無料なのか。

答 ほとんどが無料。胃内視鏡検査のみ2千円が必要。

(農産物直売所活性化事業)

問 農産物直売所活性化事業は、閉鎖予定が1年延期だったが、来年で打ち切るのか。

答 今後の方針については協議していく。

(特産物育成事業)

問 特産物育成事業について実績があるが、どのようなもので、有効活用できそうなのか。

答 ビニールハウスを使った野菜、柑橘類の新しい形の栽培などで、2件の申請があり補助金を支

出した。柑橘類等は育成中で結果は出ていない。

(給食センターのボーリング調査)

問 給食センターのボーリング調査について伺う。

答 センターの擁壁が傾いてきているので原因調査をしている。結果は、2月末に出る予定。

(学校給食)

問 学校給食について、栄養教諭が食育をしていると聞いているが、実績はあるのか。

答 各クラス年に2回ずつ計30回の実績がある。

(ESCO事業)

問 ESCO事業が終了し、半年ほど経過するが、すのきホールは、教育課の管理と聞くがどのような状況か。

答 電力の目標設定が機械上でできるようになっており、ESCO事業の設定を継続管理している。

(げんき子ども園)

問 他府県の子ども園での送迎バスでの事件に関連し、公設民営の本村の「げんき子ども園」についての指導はどの様になっているのか。

答 協定書を結び、定期的に協議の場を設けて様々な連携等話し合いをしている。

バスについては運転手は1名固定で保育士が1名同乗し、乗り降りの点呼、園内での場面場面での人数確認をしている。その他気になる点は確認している。

特別会計

(国民健康保険診療施設勘定)

問 診療施設勘定について、受診者数が、前年度より減少している。急激な改善は望めないが、どのような改善を考えているのか。

のような改善を考えているのか。

答 送迎サービス等を中心に診療所のPRを重点的に行い、受け入れやすい環境づくりに努める。

(金剛山観光事業特別会計)

問 金剛山観光事業特別会計では最後の決算になるが、PCB廃棄物等の処理は済んでいるのか。また、水道の維持管理は一般会計で維持されるのか。

答 PCBは処理完了している。水道については一般会計にて維持している。今後は、協議等して検討する。



決算特別委員会



コロナ後遺症への対応は



大阪府の専用ダイヤル等の案内をしている



服部幸令 議員

療機関の案内をしている。

村で設置した健康コールセンターには、後遺症に関する相談は今のところない。

問 新型コロナウイルス感染症の恐ろしいのは、後遺症が続くことである。国立国際医療研究センター調べでも、発症から6カ月後の時点で26.3%、12カ月後で8.8%の方が後遺症を訴えている。

答 本村では、コロナウイルス感染による自宅療養者には、食料等の生活必需品が迅速に届く等、住民から感謝の声が聞こえる。

要望 コロナ対策は国の政策であり、本村ではコロナ患者の把握がしにくい等、対応が難しい面もあるが、第8波の感染を防ぐためにも、今後も、国と本村が連携して、後遺症も含めた一層のコロナ対策を要望する。

答 後遺症の相談があった場合は、府が設置する専用ダイヤル及び受診医

給食に使用される食米の衛生管理は

問 5月に北河内地域に給食用の米を納品しているJAの精米工場で、ハトのふん等が見つかり、衛生問題があるとして、大阪府守口市が米の使用を停止する報道があった。

答 本村では、大阪府学給食会が契約している4つの精米工場から納品しているが、これらの工場全てが、「精米HACCP（ハサップ）」の認定工場として、精米の安全を確保し、衛生管理、汚染防御管理を行う総合工程管理の取組を行っている。

問 問題があった精米工場に問題があった工場との取引はない。

場には、長年に渡り市役所も保健所も視察を実施していなかったようだが、本村では精米工場の視察は行っているのか。

答 大阪府学校給食会は年1回以上、各工場に出向き、管理状況等の確認調査を実施している。この度の報道後、各工場に再確認を行い、同様の問題がない旨の報告を受けている。

今後も関係団体等と協力し、安心、安全はもとより、おいしい給食の提供に努めていく。

症状



コロナ後遺症の主な症状



藤浦 稔 議員



大阪府と河南町・太子町・千早赤阪村の協議は



合併の選択肢は避けて通ることはできない

問 3月議会で大阪府市町村局と河南町・太子町・村の副町長・副村長で構成する協議の場が設置されるとの答弁であった。協議の場では、合併も視野に入れた広域連携の



新庁舎（第1期工事完成）

取組みに「自立したむらづくり」に向け、職員一丸となって施策を推進することのだが、現在の進捗状況や具体的な取組みを伺う。

答 本年6月からは、太子町・河南町・村の3町村と大阪府市町村局が共同で実施し、市町村や圏域における具体的な行政課題への対応方策などの検討を進めている。
問 村長は、「合併も視野に入れた広域連携の取

組みについて協議を進めていく」と答弁しているが。

答 村の将来を見据えること、合併という選択肢は避けて通ることはできないと考えている。

要望 合併も視野に入れて行政運営を行なわれることを要望する。

国道309号河南赤阪バイパス3期区間の状況

問 国道309号河南赤阪バイパスは、3期区間川野辺地区から工事休止となっている。

2期区間から水分の音滝橋区間は、大型車両の通行も多く府道としては幅員も狭く急カーブもあり見通しも悪い危険な状況であるが、今後の見通しについて伺う。

答 国道309号3期区間については、産業拠点へのアクセス強化や、広域緊急交通路としての機

能強化など、村の発展のために重要な区間。大阪府や関係者と連携して検討し、引き続き、大阪府に対し3期区間の整備要望を行っていく。

問 村として、今後、「期成会」の活動について、どのような進め方を考えているのか。

答 今後、「期成会」の関係者との協議を踏まえ、連携した効果的な要望活動や、道路のあり方検討に際しては「期成会」の意見を聞き取り組んでいく。

要望 村にとって、国道309号バイパスの整備が急務である。

問 安全対策として、3期区間の整備が必要不可欠であるが、現道の安全対策について、大阪府に働きかけてほしい。

答 引き続き、大阪府に沿道の除草、道路の舗装やガードレールといった交通安全施設の補修など安全確保の維持管理を要望していく。



国道309号水分地区



災害対策ローリングストック方法の普及を



防災意識の向上に努める



平田常信 議員

問 私は、昨年9月の定例議会で『コロナ禍における大地震発生時の村の避難施設についての対策を』の一般質問を行った。その時の答弁は、平成25年度に大阪府により公表されている「南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会」での資料による具体的な想定被害数の答弁があった。想定被害数値は私の予想より、はるかに少なく驚いている。「自分の命は、自分で守る」との考え方より、今後、村内の各家庭に『ローリングストック方法』を、普及する必要性がある。

ローリングストック方法は、以前に配布されたハザードマップにも記載がある。この方法は、日常的に非常食を食べて、食べたら買い足すという行為を繰り返して常に家庭に新しい非常食を備蓄する方法で、普段から食べているものが、災害時の食卓に並び、安心して食事をすることができるとのことである。

従来の方策で、役所が備蓄している分も重要だが、各家庭で食料の調達を3日分余分に調達し、賞味期限内に消費する方法も重要。千早赤阪村過疎地域持続的発展計画書の消防・防災の中の文言で『村民と行政が一体となつて平時から防災に取り組むため、地域が主体となる自主防災組織の育成を推進し、避難所及び備蓄倉庫等の整備や災害時の備蓄品や資機材の確保等、災害に強いむらづくりに取り組む。』とある。今は水道も広域になり

大地震発生時に断水する確率は高い。各家庭で出来る災害対策を勧めるべきでは。ローリングストック方法についてどのように考えているかを問う。

答 村では、村民の皆さんに対し「災害は、いつでもどこで何が起きかわからない」ことを前提に、自助の一つとして、広報紙やホームページに、災害時の備えなどを掲載し、また、本年3月に配付したハザードマップには、「いつもよく食べるものを少しだけ多く買って置き、消費したら買い足す」というローリングストック方式」を記載している。今後とも、自主防災組織の訓練など機会をとらえて災害への備えの重要性を説明するなど、防災意識の向上に努める。

要望 各家庭任せではなく、繰返しアナウンスし役場からのプッシュ型の施策を要望する。

ローリングストック方式

いつもよく食べるものを少しだけ多く買って置き、消費したら買い足す。

いつも食べてるものだから、もしものときに元気が出るね！





井上浩一 議員

問 带状疱疹ワクチン接種の公費助成、肺炎球菌ワクチンの状況

答 带状疱疹ワクチン接種の助成は考えていない



「© GSK group of companies, all rights reserved.」グラクソ・スミスクライン株式会社 ホームページより

問 長引くコロナ禍によるストレスなどで带状疱疹の罹患者が全国で増加傾向にある。带状疱疹は水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気で治療が遅れたり、治療しなかった場合

合は後遺症が残る事があり注意が必要。痛みがひどい場合は生活に支障が出る場合もあり、入院が必要なのもある。このウイルスはほとんどの人が体内に持つており、健康で免疫力が高い場合は問題ないが、加齢やストレスなどで免疫が低下した時に発症する。

内接種率は。 **答** 2種類のワクチンがあり、1回接種のみで良いもので約9千円、2回接種が必要なもの約4万円かかる。接種率はおよそ30%。

問 带状疱疹ワクチン接種の費用はいくらか。一度受ければそれでよいのか。住民からの問い合わせは無いのか。肺炎球菌ワクチンの村

答 管理上の課題を整理し検討していく。 **要望** 村の総合計画では、SDGsの理念を取り入れている。理念にあった事業運営を望む。

予防の対象は50歳以上で2016年4月にワクチン接種が始まった。しかし、ワクチンが高額なので助成を願う。また、成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種状況はどうか。

要望 早期治療に結びつくように周知、教育活動に努力願う。

答 現時点では带状疱疹ワクチン接種の助成は考えていない。成人用肺炎球菌ワクチン

要望 早期治療に結びつくように周知、教育活動に努力願う。

男性用トイレにサニタリーボックスの設置を



サニタリーボックスの他自治体設置例



いきいきサロンやまゆりの修繕は



屋上全体の防水処理が必要



田村 陽 議員



いきいきサロンやまゆり

問 いきいきサロンやまゆりは建設から44年が経過している。現地を訪れてみると施設内の各所で雨漏りが見られ、バケツで水滴を受けている状態で、適切な維持管理や必要な修繕が行われている

答 統廃合など踏み込んだ総合的な議論が必要だ

問 各公共施設のあり方も含めた総合的な検討を進める必要がある。

答 統廃合など踏み込んだ総合的な議論が必要だ

問 各公共施設のあり方も含めた総合的な検討を進める必要がある。

答 統廃合など踏み込んだ総合的な議論が必要だ

とは言い難い状況だ。
答 屋上全体の防水処理が必要で、多額な修繕費用を要する。

いきいきサロンやまゆり以外にも、建築から相対的年数が経過している施設が多数あることから、そうした状況も踏まえて検討する必要があると考えている。

問 各公共施設のあり方も含めた総合的な検討を進める必要がある。

答 統廃合など踏み込んだ総合的な議論が必要だ

問 各公共施設のあり方も含めた総合的な検討を進める必要がある。

答 統廃合など踏み込んだ総合的な議論が必要だ

下水道事業への補填に公平性は

問 令和3年度決算では下水道事業に1億3千万円の繰入が一般会計から行われており、特別会

計として独立採算とされているとは到底言えない。

問 下水道事業と浄化槽事業とは金額に非常に大きな差がある。下水道事業に必要ではな

答 統廃合など踏み込んだ総合的な議論が必要だ

計として独立採算とされているとは到底言えない。

問 下水道事業と浄化槽事業とは金額に非常に大きな差がある。下水道事業に必要ではな

答 統廃合など踏み込んだ総合的な議論が必要だ

問 下水道事業と浄化槽事業とは金額に非常に大きな差がある。下水道事業に必要ではな

答 統廃合など踏み込んだ総合的な議論が必要だ

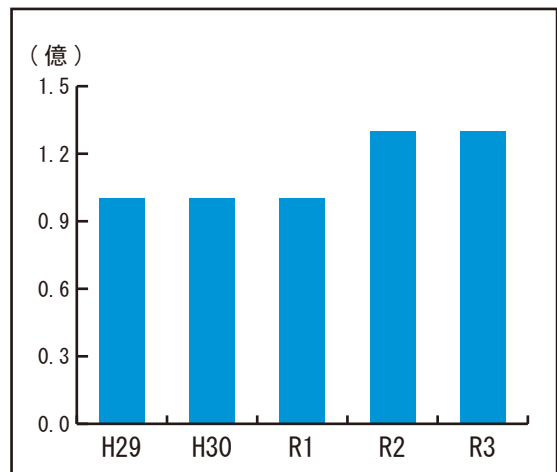
問 下水道事業と浄化槽事業とは金額に非常に大きな差がある。下水道事業に必要ではな

答 統廃合など踏み込んだ総合的な議論が必要だ

問 下水道事業と浄化槽事業とは金額に非常に大きな差がある。下水道事業に必要ではな

答 統廃合など踏み込んだ総合的な議論が必要だ

下水道事業への補填額（5年間）



5年間の合計額は5.6億円を超える



徳丸初美 議員

問 森屋バス停付近の歩道の整備を

答 大阪府に申し入れを行っている

問 森屋バス停付近の歩道に鉄板のある危険な所が複数ある。こども園の保護者や園児たちが通る歩道なので非常に危ない。事故や怪我が起こる前にぜひ整備をしていただきたい。

答 府道富田林五条線の安全対策は、管理者である大阪府に申し入れを行っているところである。



森屋バス停付近

で申し入れを行っている。

要望 この機会に村にある全てのバス停を点検していただきたい。これからはますます高齢化が進む中で、緑あふれる豊かな自然があり、年齢を重ねた方たちが居心地がよいと思え、住民サービスが充実していることを感じられれば、若い人たちが村に残り、また自然豊かな所で子育てをしたいと移り住んでこられることを期待する。

水分にバス停の新設を

問 水分バス停とメモリアルパークの間にもう1カ所新設してほしい。新設することで負担が軽減できるし、危険な目にあうことも少なくなる。村がバス会社に強く働きかけ、ぜひ実現してほしい。

答 道路の安全対策については大阪府に対してす

では、利用者数や既設バス停の状況を踏まえバス会社において検討されるものと認識している。

問 確かにバス会社が判断されることであるが、バスの補助券やタクシー券を利用して全てを補うことは到底無理なこと。新しいバス停ができることで住民が外に出る機会が増え、健康増進にもつながれば村としては嬉しいことではないか。バス会社にとっても利用者が増えれば利益につながる。

がる。方法は色々あると思う。村としての方針を問う。

答 繰り返しになるが、バス停の新設についてはバス会社において検討するものと認識している。

要望 制度の改善を図ろうとする職員の姿勢は、住民の共感を得て確実に役所・職員の信頼性を高めていくと思う。村でも住民目線で東水分の新しいバス停の実現に向けて一丸となって動いてほしい。



森屋バス停付近

ぎかいの窓

▼和歌山市視察研修

令和4年8月22日、和歌山市に緊急時情報伝達システムの視察研修に行きました。

消防庁舎災害対策室の大幅面で防災行政無線システムなどの説明を受けました。

緊急時情報伝達システム導入により防災無線と同時にメールを送ることができるとのことでしたが導入にはかなりの予算が必要で、私たちの村に置き換えた時どんなことが何処までできるかこれから起こるであろう災害を想定し、いかに命を守るかを考えた時、まったくなしたと感じました。



和歌山市研修視察

▼町村議会広報研修会

議長会主催で行われた研修会に参加しました。その中で三つの町の優秀広報が紹介されました。埼玉県寄居町、福岡県大刀洗町、岩手県岩泉町が紹介されました。講演では「絶滅危惧から持続可能な議会広報へ」「これからの議会広報を考える」「住民に伝わる情報発信と広報作成のポイント」「優秀議会広報クリニック」「三つの議会広報が教えてくれるもの」の題目で優秀広報を見ながら選ばれた理由を聞きました。読んで貰える広報を目指して日々、努力をされている所に頭が下がりました。



議会広報研修

議会を傍聴しませんか



次回定例会の予定

- 12月 8日 (木)から12月23日(金)です。
- | | | |
|--------|------------|-------|
| 12月 8日 | 本会議 | 午前10時 |
| 12月13日 | 文教建設常任委員会 | 午前10時 |
| 12月14日 | 総務民生常任委員会 | 午前10時 |
| 12月23日 | 本会議 (一般質問) | 午前10時 |

上記日程はコロナウイルスの状況により変更になる場合があります。傍聴についてもお断りすることがあります。

議会事務局 TEL 0721-26-7168
議会事務局は保健センター2階
議場は3階集団指導室兼議場

雑感

この数年、世界、いや宇宙大の話題や事件が身近で感じられるようになったのは気のせいだろうか。
良いこと、悪いこと人それぞれに感じ方も違えば、影響も様々だ。
どんなに頭脳明晰な人でも限界があり、理解できないことはこの世に沢山ある。
様々な考えを持つ人が一つの集団を作り、発展して国家

を形成し、地球上の世界を作り上げている。気の遠くなるような歳月をかけて進化してきた奇跡の星はこれからどんな歴史を刻んでいくのだろうか。
遠大な時間の中で私たちの時代はほんの一瞬だろう。
1時間後の未来もわからない世界情勢だが、楽観的に明るい未来を信じて。
未来の人たちに決して笑われることが無いように瞬間瞬間を生きてゆきたい。

(K・I)

広報編集委員会

- | | | | |
|-----|------|------|------|
| 委員長 | 井上浩一 | 副委員長 | 田村 陽 |
| 委員 | 徳丸初美 | 委員 | 平田常信 |
| 議長 | 千福清英 | | |